

和歌山県田辺市に、当社で育てた苗木を植樹しました ～防災に強い森の育成へ貢献～

日新火災海上保険株式会社（本社：東京都千代田区、取締役社長：織山 晋、以下「日新火災」）は、2023 年 2 月から株式会社ソマノベース（以下「ソマノベース」）が提供する「MODRINAE」^(※)に取り組んでいます。「土砂災害による人的被害をゼロにする」ことを目指し、土砂災害が起こりにくい森づくりを進めるソマノベースのビジョンと当社の「“あんしん”をお届けしたい」という思いが重なり、これまで当社の全国の拠点で「MODRINAE」を育て、苗木を和歌山の山へと植樹してきました。

今年度も、2025 年 11 月にソマノベースが開催した「Scrap and Reforest 戻り苗 森づくりアクション 2025」にて、苗木の植樹を行いました。今回植樹したのは 4 部署で 2 年間育てた「ウバメガシ」6 本です。当社社員の手で土を掘り返し、大地に根付くようしっかりと植えました。



ソマノベースが提供する「MODRINAE」のプロジェクトを通じて、引き続き当社も災害レジリエンスの向上・自然の豊かさを守る活動を行ってまいります。

（※）「MODRINAE」とは、育てる楽しさと森を守る体験をつなぐ社会貢献型プロダクトです。オフィスや自宅で、どんぐりから苗木を育てられます。約 2 年後、ソマノベースに返送すると山へ植林され、土砂災害リスクの低い山づくりに繋がります。